

【2025年の必要病床数の推計に係る基礎資料】

資料4 - 2 別紙

神奈川県		2014年の現状(床)	2025年の必要病床数(床)		現行との差引(床)		現行からの増加率		2025年度の患者住所地における必要病床数の充足率(4)
		現行(病床機能報告) ()	医療機関所在地() (2)	患者住所地() (3)	-	-	/	/	/
県央	高度急性期	578.0	544.9	774.8	33.1	196.8	94.3%	134.0%	70.3%
	急性期	2,734.0	2,096.3	2,370.1	637.7	363.9	76.7%	86.7%	88.4%
	回復期	577.0	1,951.4	1,827.0	1,374.4	1,250.0	338.2%	316.6%	106.8%
	慢性期 パターンA	1,114.0	1,134.9	1,323.5	20.9	209.5	101.9%	118.8%	85.8%
	慢性期 パターンB	1,114.0	1,250.8	1,476.8	136.8	362.8	112.3%	132.6%	84.7%
	未選択	56.0	-						-
	合計	5,059.0	5,843.4	6,448.6	784.4	1,389.6	115.5%	127.5%	90.6%
県全体	高度急性期	13,576.0	9,416.8	9,720.2	4,159.2	3,855.8	69.4%	71.6%	96.9%
	急性期	28,109.0	25,888.4	26,381.2	2,220.6	1,727.8	92.1%	93.9%	98.1%
	回復期	4,427.0	20,912.7	21,089.4	16,485.7	16,662.4	472.4%	476.4%	99.2%
	慢性期 パターンA	14,567.0	14,801.2	15,073.2	234.2	506.2	101.6%	103.5%	98.2%
	慢性期 パターンB	14,567.0	16,020.3	16,271.3	1,453.3	1,704.3	110.0%	111.7%	98.5%
	未選択	660.0	-						-
	合計	61,339.0	72,238.2	73,462.1	10,899.2	12,123.1	117.8%	119.8%	98.3%

(1) 合計値は、慢性期のBパターンの病床数を加算して算出

(2) 患者の流出入が現状のまま継続するものと仮定した推計値

(3) 患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は、住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものと仮定した推計値

(4) 患者住所地で患者の入院医療が完結しているのかを示すもの。

当該圏域の充足率が100%以下である時には、流出超過、100%以上である場合には流入超過を表す